

平成 28 年度使用中学校教科用図書足柄下採択地区協議会選定理由

【国語 光村図書出版】

1 特長のある教材文

- (1) 教材文の持つ豊かさや魅力により生徒の情感を豊かに育てることができる。
- (2) 説明的文章では、添えられている写真や図解・グラフ等が生徒の理解を助け、深める構成となっている。

2 読書に親しむための動機づけ

- (1) 「本の世界を広げよう（全学年）」では、教科書で取り上げられた題材と関連がある作品や同じ作家の作品を多数紹介し、生徒が自分に合った本に出会えるようになっている。

3 多様な見方や考え方

- (1) 「新聞の社説を比較して読もう（3年）」で2つの論説を読み比べ、ものの見方や考え方を広げる扱いがされている。

4 東日本大震災を題材として取り上げ、町づくりの大切さを伝えている。

5 古文や漢文を題材として取り上げ、伝統的な言語や文化に親しむ工夫がされている。

6 色覚特性に配慮した色使いがされている。

【書写 光村図書出版】

1 筆の使い方の説明

- (1) 筆のリズムは「トン、スー、トン」という擬音で表している。
- (2) 「2の力」「3の力」など筆圧が数値化されている。

- 2 国語科との連動がされている。
- 3 伝統的な言語文化への理解を深めようとしている。
- 4 色覚特性に配慮した色使いがされている。

【社会（地理的分野） 帝国書院】

- 1 学習課題や見通しが明確
 - (1) 時間ごとに課題が分かりやすく示されている。
 - (2) 1部、2部に入る導入のページでは、学習の見通しや写真資料で学習のイメージを膨らませることができる。
- 2 最新の資料
 - (1) 最新の資料や写真が使われており、写真の内容も子どもたちの興味関心を引き出すことができるものとなっている。
- 3 自分の言葉で
 - (1) 「説明しよう」では自分の言葉で説明する力が育ち、自分の考えをまとめようとすることによって理解を更に深めることができる。
- 4 地域を考える
 - (1) 日本の各地域の環境や防災等の課題を理解し、身近な地域や日本の将来のことを考えることを投げかけている。

【社会（歴史的分野） 教育出版】

- 1 子どもにとって見やすく使いやすい編集
 - (1) タイトルの付け方、文中の太字の配置、絵図の作り方、メッセージ性の高い写真等の工夫がされている。
 - (2) 随所に丁寧なコメントが付されている。

(3) 資料が豊富で課題が示され、生徒が互いに発表しやすく考えやすいような工夫がされている。

2 歴史への興味関心

(1) 巻末に都道府県の江戸時代と現在の対照や江戸時代の産業・交通等が配置されていて、現在と昔の比較ができ、歴史に対する興味が深められるように工夫されている。

3 日本の領土の理解

(1) 「隣国と向かい合うために～日本の領土をめぐって～」では、言葉の説明だけでなく地図で示し、生徒がイメージしやすいようにされている。

【社会 公民的分野 東京書籍】

1 学習の課題や見通しが明確

(1) 各章の導入部でその章の内容を話し合うなど、学習への動機付けがされ、主体的に考える学習を進める構成となっている。

(2) 「第○章を学ぶにあたって」で学習の課題や見通しが持てるように工夫されている。

2 用語解説

(1) 95件の内容が5ページにわたって詳しく分かりやすく説明されている。

【社会 地図 帝国書院】

1 領土の理解

(1) 領土について分かりやすく記載され理解しやすい。

(2) 日本と近隣諸国との関わりが地図の中で分かりやすく描かれている。

2 見やすさ

- (1) 文字の大きさや色使いがはっきりしている。
- (2) 地名等の名称も細かく書き込まれ見やすい。

【数学 東京書籍】

1 単元の導入

- (1) 単元の導入時の例題の扱いで、様々な考え方を取り扱い、より良い方法をさらに考えていくということに繋がる構成となっている。

2 練習問題の充実

- (1) 各単元での練習問題が充実して、1つの単元が終わる時にその単元をしっかり復習できる。
- (2) 単元途中の練習問題にも更に補充問題があり、多くの問題を解いて定着を図ることができる。

3 数学を切り開いた日本人（各学年巻末）

- (1) 偉人の貢献によって水準の高い日本の数学が作られたことが理解できる。

【理科 大日本図書】

1 理科への興味関心

- (1) 「発展」のコーナーで今日の社会的状況などを踏まえた内容や生徒の興味を引く内容が取り上げられ生徒の興味関心を更に深める工夫がされている。

2 実験や観察

- (1) 実験や観察の目的意識を持てるように考察の視点が明記されている。

3 理科の活用

- (1) 全学年で適宜設けられている「トピック」や「暮らしの中の理科」では、理科と生活が密着している話題を取り上げ、生徒が理科に対して更に興味関心を深めるように工夫している。

【音楽（一般） 教育芸術社】

1 生活の中に音楽を

- (1) 生徒にとって音楽を身近に感じられる題材を取り上げている。
- (2) 「ふるさとへの誇りを胸に (2・3上)」で中学生によって上演される歌舞伎を取り上げている。
- (3) 四季を感じられる題材が取り上げられている。

2 使い易さ

- (1) 開いたときにページが閉じないように綴じられている。

【音楽 (器楽合奏) 教育芸術社】

1 和楽器の扱い

- (1) 姿勢や礼儀など日本の文化として丁寧に扱われている。

2 リコーダーの充実

- (1) リコーダー曲が多数あり、幅広い合奏もできるようになっている。

【美術 光村図書出版】

1 美術と言葉

- (1) 作品に対応した詩が掲載され、美術科での言語活動の充実に繋がる工夫がされている。

2 日本の美

- (1) 日本の作品が多く取り上げられ日本の美に触れる機会が多くなっている。

3 編集の工夫

- (1) 原寸大の作品が掲載され、作品を身近に感じることができ、生徒の美術への興味関心を高める工夫がされている。

【保健体育 学研教育みらい】

1 学習の流れ

(1) 「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」のように1時間の学習の流れが分かりやすくなっている。

2 自分のこととして考える

(1) 「中学生と食事」では試合や試験の前の食事などが示されて、食生活の大切さを自分のこととして考えさせるように工夫されている。

(2) 生徒の身近な課題である喫煙・飲酒・薬物乱用は説明がしっかりとされている。

3 生徒の立場で

(1) 第1章では「カウンセリングルーム」というコーナーがあり、中学生にありがちな悩みの相談に応じている。

4 編集の工夫

(1) 内容によって文字や字体を変えたり表も見やすくしたり読みやすくする工夫がされている。

【技術家庭（技術分野） 教育図書出版】

1 ものづくりへの興味関心

(1) 身近な生活の中の品物について取り上げ、ものづくりに対する興味関心が高まる。

2 これからの技術

(1) 宇宙技術やロボットなどが掲載され、これからの技術について考えることができる。

【技術家庭（家庭分野） 教育図書出版】

1 日常生活への応用

(1) 献立を作成する学習では、手順も詳しく参考例も多い。また、学習内容を日常生活に応用できるように工夫されている。

2 学習内容の定着

(1) 内容ごとに「学習の振り返り」があり、基本的なことの理解の定着を図ることができる。

3 家族・家庭の重視

(1) 最初の単元として「家庭・家族と子どもの成長」を位置づけ、第1章「家族と家庭生活」で家族や家庭の生活、家庭と地域のつながりについて学ばせる構成となっている。

【英語 東京書籍】

1 英語への親しみ・興味関心

(1) 書くための導入が丁寧になされ、単語の書き方も丁寧に扱われている。基本文の明示や順を追って学べるような配慮がされている。

(2) 「出会う（1年）」「Let`s Read（全学年）」「Further Reading（3年）」等を取り上げて、生徒の興味を引き出し、深める工夫がされている。

2 国際的な言語として

(1) 会話や今日的な事柄に即したものを取り上げ、国際的な言語としての扱いがされている。

3 小学校との関連

(1) 「Hi, English！（1年）」で小学校での学んだことの復習から教科書が始まり小学校との関連を大切にしている。